

令和7年度 出入管理機器委員会 施設見学会報告書

施設：高千穂交易株式会社 本社（東京都新宿区）

実施日：2026年 1月16日

参加者：別リストへ記載

協会	委員会	作成
山本	近藤	近藤

2025年 3月 12日

公益社団法人 日本防犯設備協会  
出入管理機器委員会

## 1. 概要

### (1) 見学目的

物理セキュリティ市場における海外メーカー製品の技術水準および運用実態を調査し、Verkada 社のソリューションがオフィス環境で利便性とセキュリティを両立させる実態を確認する。

### (2) 見学施設

高千穂交易株式会社 本社（東京都新宿区）

Verkada 製品の国内正規代理店であり、自社オフィスで Verkada の入退室管理および防犯カメラシステムを実運用している。

参考 URL：[セキュリティやネットワーク、電子部品、産業機構部品の技術商社 | 高千穂交易株式会社](#)

### (3) 実施日

・2026年1月16日(金)

### (4) 見学内容

Verkada の入退室管理システムおよびカメラシステムの製品概要説明後、オフィス内での実運用事例を見学した。

- ① Verkada 社製カメラシステムについて
- ② Verkada 社製入退室管理システムについて
- ③ インターホンとカメラとアプリを利用した荷物受取業務の運用例について
- ④ その他

<当日の様子および集合写真>



## 2. 見学内容

### (1) Verkada 社製カメラシステムについて

#### ①システム概要

- ・ SaaS 型のクラウドカメラであり、レコーダーレスで映像はカメラ本体に記録される。
- ・ 映像確認時のみクラウドシステムにストリーミングされる仕組みのため、平常時のネットワーク帯域使用量を低く抑えることが可能 (20kbps~50kbps)。カメラ本体のストレージにデータが保存されるが、ユーザーによる交換は不可で、問題発生時はカメラ本体を交換する (先出し SEND BACK 方式)。

#### ②AI 機能

- ・ AI を活用した多様な機能が追加費用なしで利用可能 (ライセンスに含まれる)。  
具体的なデモとして、マスク着用者の検索、特定人物の服装による検索、複数カメラ間での人物追跡、転倒検知 (介護施設での利用例)、動物検知 (犬、猫、熊の識別と熊撃退音の連携例) などが紹介された。

#### ③参加者の評価

- ・ AI 機能の豊富さや、クラウドシステムの利点を活かした継続的な機能アップデートが評価された。  
特に、大規模施設における複数カメラ間での人物追跡機能は、監視業務の効率化に貢献すると見込まれる。
- ・ 画像認識の精度とブラウザ上での処理速度は非常に高く、ネットワーク負荷を低く抑える工夫も評価された。また、「自由語検索」や「カメラ間リレー認識」といった高度な機能の実装に驚きの声が上がった。
- ・ 最大 1 年分の映像を機器内に保持し、必要な時にのみクラウドにアップロードすることでネットワーク負荷を抑制する点や、フロアマップのインポートによるヒートマップ表示など、実運用に便利な機能が標準で多く実装されている点がメリットとして感じられた。
- ・ NDAA や GDPR といった国際的な基準に準拠している点、ソフトウェア操作のスムーズさ、UI の使いやすさも高く評価された。顔と服装の複合による個人特定や、検索操作の容易さ、結果表示の速さも優れていると感じられた。
- ・ カメラ本体とクラウドサービスライセンス (ソフトウェア機能を含む) を組み合わせたシンプルな提供形態は新しい手法として注目され、AI 機能を備えたカメラとして、セキュリティ用途にとどまらない幅広い活用の可能性があると感じられた。グローバル企業ならではの各国要件への柔軟な対応力、ネットワーク負荷を抑える工夫、管理用ソフトウェアの完成度と拡張性も評価された。レコーダーレスのシステムは今後の主流となる可能性が指摘された一方で、日本市場ではレコーダーを好むユーザーも一定数存在するという見方も示された。



<オフィス内設置のカメラ>

## (2) Verkada 社製入退室管理システムについて

### ①システム概要

- ・高千穂交易の本社および各支社の複数拠点に導入されており、クラウドで一元管理されている。
- ・コントローラーは現地に設置され、クラウドシステムと通信する。認証端末では Bluetooth を利用したスマートフォン認証が可能であり、専用アプリ「Verkada Pass」をバックグラウンドで起動することで利用できる。コントローラーは標準で OSDP 通信に対応しており、Wiegand 通信も可能である（顔認証端末接続時など）。高千穂交易様 本社では Verkada 製カードリーダーと HID 製カードリーダーを Wiegand で接続して併用している。
- ・実際に導入されていたカードリーダーは下記。（左が通常時、認証 OK だと緑点灯、NG だと赤点灯）  
コントローラーは、標準で OSDP 通信に対応。Wiegand 通信も対応可能（顔認証端末を接続する時に使用）  
（高千穂交易様本社では、Verkada 製カードリーダーの他に、HID のカードリーダーを Wiegand で接続して利用）



〈通常時〉



〈認証 OK 時〉



〈コントローラー〉

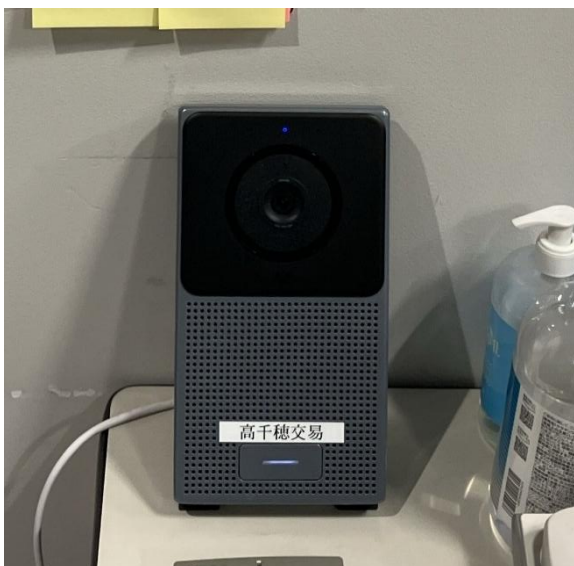
### ②参加者の評価

- ・カメラシステムとの統合により、1つの監視画面上で多様な情報を管理できる点が評価された。
- ・スマートフォン認証は、認証スピードや認証距離において問題がないと確認された。ランニング費用が ID 数ではなく扉数で決定される点が特徴的であると感じられた。
- ・クラウドベースでありながら、オフライン時にはスタンドアローンでの動作が可能な点も高く評価された。スマートフォンアプリの提供によりカード発行コストを削減できるが、高千穂交易での利用率は約半数に留まっているとの報告があった。サイトログインにおける SSO 対応、多要素認証、サポートアクセスの可否設定、映像共有の選択機能など、セキュリティ上の顧客要件に対応できる点が参考になった。
- ・スマートフォンアプリ「Verkada Pass」が無制限で無料で提供され、その評価も高いことが確認された。クラウド型のシステムであるため、全国の小規模店舗などへの展開において ACS の統制が容易であり、過剰な設備投資を抑えられる可能性が示唆され、カメラシステムと合わせた導入検討のしやすさが感じられた。
- ・10年保証という長期保証は、長期運用を前提とした製品として信頼性や導入判断における重要なポイントであると強く感じられた。サーバーレス、クラウド管理、多言語対応といった特徴から、外資系ユーザーによる実績増加が見込まれる。

### (3) インターホンとカメラとアプリを利用した荷物受取業務の運用例について

#### ①概要

- ・高千穂交易のメールルームにおける荷物受け取りフローが紹介された。メールルームの共用部側扉は定時内のみ解錠、事務所側扉は常に施錠されている。宅配業者はメールルームに入室後、室内のインターホンで総務に連絡する（インターホンカメラは録画機能付き）。総務は荷物を受け取り、メールルーム内に荷物を置いた後、その場所と荷物の写真を撮影し、「Verkada Mailroom」アプリに登録する。この際、メールルーム内の監視カメラで俯瞰撮影された受取人の様子も合わせて登録される。荷物受取人の宛先にはアプリまたは Teams で受け取り依頼の通知が送信され、受取人が荷物を受け取った後、アプリでチェックアウトを行う。チェックアウトが行われない場合、一定間隔で通知が継続される仕組みである。



<メールルーム内インターホン>



<メールルーム内の監視カメラ>

#### (4) 共通特徴とその他機能

##### ①プラットフォーム統合

- ・物理セキュリティ（カメラ、入退室管理など）の全てを1つのプラットフォームで管理できる点が共通の特徴である。全ての管理はWebブラウザ上で行うことが可能であり、用途に応じたスマートフォンアプリ（Verkada Command、Verkada Pass、Verkada Mailroom）も展開されている。

##### ②費用体系

- ・ランニング費用は、アプリの利用者数ではなく、カメラ台数や管理扉数（カードリーダー数ではない）に基づいて決定される。これにより、アプリの利用者が増えても費用が膨らむことはない。

##### ③その他の機能

- ・現地設置の空気質センサーにより、温度、湿度、二酸化炭素、電子タバコを含む喫煙指数などを計測し、アプリ上で表示できる。BACnetにも対応しており、中央監視システムとの連携も可能である（米国での実績はあるが、日本では未導入）。インターホン本体に電気錠コントローラー機能を持たせ、インターホン1台で電気錠の施錠を行うことも可能である。Webサイト上のチャットで24時間問い合わせ対応が可能であり、AIを活用した問い合わせ対応機能も別途用意されている。

##### ④参加者の評価

- ・ハードウェアに対する10年保証は、製品品質への強い自信の表れと受け止められた。主要な商流が施主直である場合、新築市場においては従来製品とは異なる価値提案が可能であり、今後の市場動向への影響が注目される。
- ・カメラや入退室管理に留まらず、様々なプロダクトが相互に連携することで非常に便利に利用でき、ほとんどの機能が標準で実装されているため、価格面および性能面で他社製品と比較して優位性があると感じられた。
- ・Verkadaがカメラメーカーからスタートしているため、現状では入退室設備の商品ラインナップに不足があるとの見方もあったが、今後ラインナップが拡充されれば、日本メーカーにとって大きな脅威となる可能性が示唆された。

### 3. 全体的な考察

#### (1) 製品の優位性

- ・Verkadaソリューションは、SaaS型クラウドベースの統合プラットフォーム、豊富なAI機能、レコーダレス設計、低ネットワーク帯域使用量、長期保証、そして柔軟な費用体系といった点で、既存の物理セキュリティ市場に新たな価値を提供している。特に、国際基準への準拠や多言語対応は、グローバル企業としての強みを示している。

#### (2) 今後の展望と課題

- ・AI機能の継続的な進化や顔認証などの新機能の追加により、さらに幅広い用途での活用が期待される。一方で、日本市場特有のレコーダ志向や、保守拠点情報の不足といった課題も指摘されており、今後の国内展開における戦略が注目される。

#### 4. 見学会参加者

委員会	名前（敬称略）	会社名
出入管理機器委員会 委員長	近藤 貴裕	三菱電機ビルソリューションズ(株)
同 副委員長	小柳 康之	ホーチキ(株)
同 委員	田苅子 賢	(株)日立ビルシステム
同上	松本 政俊	パナソニック(株) エレクトリックワークス社
同上	児島 龍一	美和ロック(株)
同上	吉岡 俊瑛	(株)クマヒラ
日本防犯設備協会 事務局	山本 貴之	公益社団法人 日本防犯設備協会